

平成 28 年（2016 年） 2 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 1 日 目 ）

平成 28 年 2 月 22 日（月）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	仲 松 寛 (新 風 会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	観光行政について	(1) 那覇市観光基本計画について ① 計画の概要と目標について伺う ② 那覇ハーリー及び那覇大綱挽まつり、首里城祭の来場者数について伺う ③ 海洋レジャー観光の状況と取り組みについて伺う (2) 民泊について 観光庁は「民泊サービス」のあり方に関する検討会を進めている。民泊に対する考え方及び課題について伺う (3) 国際通りの活性化について ① 「トランジットモール」の評価と効果について伺う ② 観光バスの制限的駐車について伺う (4) 本年開催される「第 6 回世界のウチナーンチュ大会」への取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	金 城 敏 雄 (自 民 党)	1 子どもの貧困対策について	沖縄の子どもたちをめぐる厳しい現状があらためて浮き彫りとなった。官民挙げて新たな支援の枠組みを早急に！と県が独自に算出した県内の子どもの貧困率が発表された。29.9%と非常に深刻な数字だ。また、18歳未満のおよそ3人に1人が貧困の中で暮らしているという結果で、ひとり親世帯では59.9%とさらに深刻だ 子どもの貧困問題の解消は、市民一人一人に突き付けられた重い課題だと再認識をしなければならない (1) 本市における「子どもの貧困対策」について組織を立ち上げ、体制づくり、計画推進(素案)の取り組み及び予算の裏付けなどについて伺う (2) 貧困問題をどのように把握しているのか伺う
		2 市営住宅行政について	市が子どもの貧困対策として、ひとり親家庭支援について、市営住宅への優先入居に取り組んでいるか、ひとり親世帯の生活困窮者の入居希望に対する部屋の不足などの現状があるが、「市は民間住宅借り上げ等、貧困の連鎖を食い止めるための支援、助成、補助など施策」について伺う
		3 学校教育について	公立小学校の学校給食費の無料化について (1) 教育委員会にて検討をしたことがあるか伺う(県内11市の給食費無料化状況) (2) 要保護費分・準要保護費分も含めた積算についての1年間の総人数と年間総額についてまた、要保護費分・準要保護費分を除いた総人数と年間総額について伺う(月額についても) (3) 逆行している今回の給食費改正(月額一人200円)については、市の財源でもって充てることが出来ないか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	金 城 敏 雄 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 子どもの貧困対策について 2 市営住宅行政について 3 学校教育について	沖縄の子どもたちをめぐる厳しい現状があらためて浮き彫りとなった。官民挙げて新たな支援の枠組みを早急に！と県が独自に算出した県内の子どもの貧困率が発表された。29.9%と非常に深刻な数字だ。また、18歳未満のおよそ3人に1人が貧困の中で暮らしているという結果で、ひとり親世帯では59.9%とさらに深刻だ 子どもの貧困問題の解消は、市民一人一人に突き付けられた重い課題だと再認識をしなければならない (1) 本市における「子どもの貧困対策」について組織を立ち上げ、体制づくり、計画推進(素案)の取り組み及び予算の裏付けなどについて伺う (2) 貧困問題をどのように把握しているのか伺う 市が子どもの貧困対策として、ひとり親家庭支援について、市営住宅への優先入居に取り組んでいるか、ひとり親世帯の生活困窮者の入居希望に対する部屋の不足などの現状があるが、「市は民間住宅借り上げ等、貧困の連鎖を食い止めるための支援、助成、補助など施策」について伺う 公立小学校の学校給食費の無料化について (1) 教育委員会にて検討をしたことがあるか伺う(県内11市の給食費無料化状況) (2) 要保護費分・準要保護費分も含めた積算についての1年間の総人数と年間総額についてまた、要保護費分・準要保護費分を除いた総人数と年間総額について伺う(月額についても) (3) 逆行している今回の給食費改正(月額一人200円)については、市の財源でもって充てることが出来ないか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	下 地 敏 男 (社社市民ネット) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 N A H Aマラソンについて 2 情報サービス行政について 3 貧困対策について 4 本市臨時・非常勤職員待遇改善等について	N A H Aマラソンが日本陸連公認コースのマラソン大会になって今年で4年目に入る。現状は陸連登録ランナーと一般市民ランナーが混在している。ボランティアと観衆とランナーが一体となった 27 回続いたN A H Aマラソン大会良さを再認識する時期にきている、公認をはずし、あらためて歴史のある世界一を誇った単独のN A H Aマラソン大会に戻したらどうか見解を伺う 緊急時の防災情報の提供や、平時においては、観光向けのインターネットの接続が容易にでき、利便性の向上があり、防災と観光に生かされる I C Tへの取り組みについて見解を伺う 県内の子どもの貧困率が約 30%になっている深刻な現状を克服する支援事業が、各自治体で進んでいる。低所得者の子育て保護者の病児・病後児保育にかかる経済支援も課題である。本市の取り組みの現状を伺う 本市の業務の担い手として臨時・非常勤の果たす役割は大きいものがある。しかしその労働条件は厳しく早急に改善しなければならない。以下質問する (1) 当該職員が行使する休暇等で無給は何件あるか (2) 無給になっている休暇等の改善はすすんでいるか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 本市公立中学校の生徒の危険行為について	平成 25 年 10 月 28 日、当該生徒が校舎 3 階屋上の縁に座り込む危険行為が発生した。これまでの経過（保護者の学校での相談記録が無い。保護者に対する威圧。謝罪の内容説明なし等）で保護者と学校と市教育委員会の認識に大きな隔たりがあり、保護者の学校及び教育委員会に対する強い不信と大変な怒りがある。以下質問する (1) 学校側の行った謝罪は不適切ではなかったか (2) 復学ができなかったことは学校側及び市教育委員会の責任ではないか (3) 教育委員会の学校に対する指導不足があるのではないか。 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 上下水道事業について	本市の上下水道事業は順調に実施されていると認識しているが、漏水の対策について以下伺う (1) 先日、高良2丁目の集合住宅敷地内で漏水が発生したが、その確認から対処に関してどのように行ったか伺う (2) 市内全域における漏水対策の状況について
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 龍柱建設事業について	このほど若狭緑地帯によりやく龍柱が完成し、先月、地域の皆さんと共にお祝いの催しが執り行われた。観光資源として今後の活用が重要になってくるが、完成の節目に今一度、本建設事業に関して以下伺う (1) 今年度における事業完了までの経過について (2) 景観上、電線地中化(無電柱化)は最低限必要と考えるが、周辺整備として関係機関への要請等は行ってきたのか (3) 残念ながらペンキをかけられる事件が起こってしまったが、その補修対応について (4) ボーリング調査の際に破損した雨水管の修繕について (5) 前年度工事の「その2」の業者との話し合いはどうなっているのか
		3 住宅困窮者対策について	市営住宅を申し込んでも倍率が高すぎてなかなか入居できない方が大勢おられるが、その対策について以下伺う (1) 市営住宅の入居状況について (2) 市営住宅における高齢者世帯、障がい者世帯、および多子世帯等への対応について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 住宅困窮者に対して民間賃貸住宅を有効活用させようとする「民間住宅活用型住宅セーフティーネット整備推進事業」がスタートして2年余りになるが、これまでの状況について 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	多和田 栄子 (社社市民ネット)	1 ふるさと納税について	ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、街づくりや地域活性化と共に、市の財源確保にもつながり多くの自治体が力を入れていると聞く さらに「ふるさと納税」を活用することにより住民税の控除が適用、ふるさと納税を活用するブームが広がっている そこで本市について以下伺う (1) 那覇市の「ふるさと納税」はどのくらいあり、どのように使われているか (2) 「ふるさと納税」の特典及び増やす取り組みはどのようになっているか伺う
		2 子どものアレルギー疾患について	今、子どもたちのアレルギーが増大している。児童生徒の安全・安心を確保するために家庭の環境、日々の食生活において、継続的な状況把握、一貫した情報の共有が重要になってくる。そこで以下伺う (1) 学校でのアレルギーを持つ子ども達は現在どのくらいなのか伺う (2) 学校給食において、どのようなアレルギー対策をとっているか
		3 庁舎敷地内の樹木に「ランを着生」することについて	沖縄は、亜熱帯気候でランには最適な気候であり、観光においてもクローズアップされている 個性豊かで魅力ある都市景観づくりとしてランの花でのおもてなしは、市役所のイメージアップはもちろん、観光振興の求心力、付加価値を図ることにもつながると思う そこで、庁舎敷地内の樹木にランを着生する「ラン着生」を提案する。市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	久 高 友 弘 (自 民 党)	1 市長の施政方針について	(1) 城間市長の施政方針のキャッチフレーズは「ひと つなぐ まち」であり、人と人、人と地域をつなぐコミュニティの構築が「ひと つなぐ まち」の礎となっているとある。また、まちづくりの主体・担い手はほかならぬ市民であるということが協働によるまちづくりの原点であると語っておられる。市長の基本姿勢は、まちづくりの主体である市民を大切にし、市民の声に耳を傾け、那覇市がリードして市民が共に協力し合える市民の望むまちづくりをすることだと理解して良いか伺う (2) 文教地区である久茂地小学校跡地に新市民会館を建設するためには多くのクリアすべき課題が存在するが、それでも久茂地地区にこだわるつもりか伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 龍柱のお披露目式典について	(1) 若狭海浜公園の駐車場で行われる予定だったお披露目式典が当日はクルーズ船が着く那覇市のターミナルで行われた。なぜ会場を変更したのか。また、いつ変更したのか伺う (2) 龍柱竣工お披露目実行委員会のメンバーと、そのメンバーがどのように選出されたか伺う (3) お披露目式の案内状は何人に配ったか伺う (4) 那覇市の記者クラブに登録したメディア以外のメディア関係者をシャットアウトした理由を伺う (5) お披露目式の経費は誰が負担したか伺う (6) 入口で会場に入る人達をチェックする那覇市職員は何人いたか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 宇栄原南土地 地区画整備事 業計画につい て	(1) 宇栄原南土地地区画整備事業は、いつ始まり いつまでに終了するのか伺う (2) 事業計画変更を何回したか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	障がい者行政について	(1) 障がい者の実態を問う (2) 沖縄県障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例への見解を問う (3) 沖縄県障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例で謳われている「差別相談員」及び仮称「差別相談員コーディネーター」の本市の配置状況と役割について問う (4) 那覇市身体障害者福祉協議会より何度も要望が出ている、中核市にふさわしい那覇市障がい者福祉センター施設の建て替えについて問う (5) 県庁、市役所、旭橋再開発地域をバリアフリー基本構想の重点整備地区に指定すべきではないかと要望がある。本市のバリアフリー基本構想の策定について問う (6) 視覚障がい者 I T 支援ソフトの利用状況・課題を問う (7) 土・日の市役所駐車場の障がい者減免制度(半額免除)について問う (8) 重度心身障がい者医療費助成制度の拡充について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	上 原 快 佐 (社社市民ネット) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 文化行政について	(1) 小祿地域における文化振興の現状と課題について伺う (2) 新小祿支所の文化的役割について伺う
		2 福祉行政について	(1) 本市における国保適用の精神疾患患者の概要及び推移について伺う (2) 上記の要因と支援体制及び課題について伺う (3) 本市における産後うつ病の現状と支援体制及び課題について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 レインボー 行政について 2 市営住宅行 政について 3 観光行政に ついて	伊賀市は、同性カップルを市長が公的に認める 証明書にあたる「パートナーシップ宣誓書受領 証」を4月から交付する 本市では、同様な証明書交付について調査検討 中とのことだが、進捗はどうなっているか。また、 同性カップルのパートナーシップに関するその 他の施策等、L G B T支援策についても問う 本市では平成 28 年度から、市営住宅へ入居す るひとり親世帯に、多子世帯と同じく期限付きの 最優先入居を実施する。これに対し関係者から は、最優先入居には評価を示す一方、18 歳の期 限付きには「大学進学への選択肢が阻まれるので は」などの不安の声がある。これは、多子世帯で も同様の事が言える 優先入居の現状と市の対応を問う 沖縄県では、観光における災害時等の危機管理 に関する「沖縄県観光危機管理計画」を策定し、 実行計画を策定中である。本市における観光危機 管理はどうなっているか。対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長